

男性養護教諭に関する研究動向

中村 千景

帝京短期大学生活科学科

A Review of Research on the male Yogo teacher

Chikage NAKAMURA

Department of Living Science, Teikyo Junior College

キーワード：男性養護教諭、養護教諭複数配置、課題

Key words : male Yogo teacher, Plural Yogo teacher in a school system, Problem

要 旨

全国には約4万人の養護教諭がいるが、そのほとんどが女性であり男性は0.12%しかいない。かつては看護婦や保母と呼ばれ「女性の仕事」であった職種は、看護師や保育士と名称が変わり、今では男性も多く活躍されその存在はジェンダーの壁が取り払われ広く社会に認識されている。しかし、男性養護教諭の存在は同じ状況にない。このことから、CiNiiにおいて「男性養護教諭」で検索された9件の論文を概観し、得られた知見を本コースの男子学生の指導に役立て、さらには「男性養護教諭」が看護師や保育士のように広く認識されることを願い、男性養護教諭の現状と課題を明らかにすることを本研究の目的とした。

結果、男性養護教諭の活躍が社会に広まり存在が認識されることで、より多くの男性養護教諭が生まれ、複雑化した児童生徒の健康問題を解決していくためには、複数配置が広まり、男女両性の視点で保健室経営できることが有効であると考えられた。

1. はじめに

帝京短期大学に勤務し始めて5年目を迎えた。入職し学生の前に初めて立った時、男子学生が在籍していたことに大変驚いた記憶がある。養護教諭養成を仕事としていながら恥ずかしい話であるが「養護教諭は女性の仕事」と勝手に思っていたのである。筆者が養護教諭を務めてきた群馬県では男性の養護教諭はおらず、長野県や新潟県での学生時代も養護教諭養成コースには男子学生はいなかったため、存在を認識していなかったのである。

筆者が養護教諭コースに在籍する学生と、非常勤で講義を行っている他大学の保健体育科教員養成コース学生に調査をしている、「養護教諭のイメージ」においては、「女性」、「学校のお母さん」、「やさしいお姉さん」、「おばさん」といった記述がみられる。これらの記述のジェンダーを入れ替えた「男性」、「学校のお父さん」、「やさしいお兄さん」、「おじさん」の記述はみられない。これは、養護教諭を目指す男子学生であっても同様であった。平成22年6月にNHK「中学生日記」¹⁾のドラマに4回にわたって男性養護教諭が

登場したことがあるが、学生はこれまでの生活の中で男性養護教諭と関わることも、存在を知る機会もなく「養護教諭＝女性」と認識していると考えられる。

平成24・25年度に筆者が担任をしている男子学生が、母校の小学校へ養護教諭免許取得のための必修科目である養護教諭教育実習に出ることになった。事前の打ち合わせ、実習期間中等に実習校の校長先生とお話しさせていただくと「男性の実習生を受け入れたことがないので、何をさせればよいでしょうか?」、「内科検診の時には保健室の実習ではなく授業見学をさせます」といったように、女子学生とは異なる対応をとられることがあり、学校現場ではとまどいがあることが分かった。

平成23年度から平成25年度の3年間に養護教諭コースに入学した181名の学生の内、男子学生は10名(5.5%)であり、中途退学した1名の学生を除き卒業時に養護教諭免許を取得した男子学生は9名の内5名(55.6%)である。参考までに女子学生は、171名入学の内26名が中途退学したため145名が卒業となり、その内119名(82.1%)が免許取得をした。免許取得した男子学生5名の内1名は現役で東京都教員

採用試験の一次合格を果たしたが正規採用には至らず、卒業後から現在まで特別支援学校において臨時採用の養護教諭として勤務をしている。

平成23年11月に名古屋大学にて開催された「第58回日本学校保健学会」²⁾において、男性養護教諭のポスター発表があり、発表者の先生と連絡を取り合うきっかけを作ることができたことから、「男性養護教諭友の会関東支部（平成22年結成）」の懇親会や、毎年夏に開催されている「男性養護教諭研修会（平成22年より開催）」に参加させていただいている。また、今年度開催された「第6回男性養護教諭研修会」では分科会において講演させていただいた。この関わりの中から、彼等の熱心な取り組みを知ることができ、そして「養護教諭の執務を遂行していく上で性別の問題はない」と語る真摯な姿をみることができた。彼等は男性養護教諭として通常の執務の様子が新聞^{3) 4) 5)}に取り上げられたり、養護教諭の専門誌「健康教室」^{6) 7) 8)}に掲載されたりと、活躍している。「健康教室」に初めて男性養護教諭が掲載されたのは2004年⁹⁾であった。

インターネット¹⁰⁾において「男性養護教諭」と検索すると、一番上に「男性でも養護教諭になることは可能ですか？」といった男子高校生の質問がみられた¹¹⁾。高校生が進路選択をする際に「男性養護教諭」を目指すことを考えていること、そして検索画面の一番上に掲載されるということは閲覧数が多いことを示している。また、長野県庁ホームページにある「県民ホットライン」¹²⁾において、「他県では男性養護教諭の採用が増えてきており、男女両方いた方がよいと思うが、長野県では男性養護教諭を積極的に採用する方向なのか」と教育委員会に対して質問がなされるなど、社会の認識が変化していると考えられる。

2. 目的

かつては看護婦や保母と呼ばれ「女性の仕事」であった職種は、看護師や保育士と名称が変わり、今では男性も多く活躍されその存在はジェンダーの壁が取り払われ広く社会に認識されている。男性養護教諭の存在は、先に述べたインターネット検索^{10) 11) 12)}のように存在に対して好意的なものも見られるが、デメリットやリスクといった言葉もみられる^{10) 11) 12)}。このことから、得られた知見を本コースの男子学生の指導に役立て、さらには「男性養護教諭」が看護師や保育士のように広く認識されることを願い、男性養護教諭の現状と課題を明らかにすることを本研究の目的とした。

3. 研究方法

国立情報学研究所学術情報ナビゲータ CiNii において、「男性養護教諭」で検索（平成27年6月3日アクセス）された9件の論文を概観し、研究動向から現状と課題を得る。課題の検出は、文章から短い文節を抽出し KJ 法¹³⁾ を利用し質的に分析する。

4. 結果

(1) 男性養護教諭の配置状況

ここで示す養護教諭の人数は、養護教諭及び養護助教諭の本務者とする。

文部科学省による「平成26年度学校基本統計調査報告書」¹⁴⁾ から得られた学校（園）数と養護教諭数に対する配置率を表1に示した。平成13年の教職員定数の改正¹⁵⁾ にともない、児童数が851人以上の小学校及び生徒数が801人以上の中学校（中等教育学校の前期課程を含む）に2人の養護教諭等を配置できるよう複数配置基準が引き下げられた。また、3学級未満の小中学校（中等教育学校の前期課程を含む）と幼稚園・高等学校・特別支援学校は、養護教諭等の配置に関して法律条文に掲載されていない¹⁵⁾ ため、学校数＝養護教諭数ではないが、幼稚園では養護教諭の配置がほとんどされていなく、特別支援学校では複数配置が進んでいることが分かる。

表1. 学校数と養護教諭の配置率

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
学校数(園・校)	12,905	20,852	10,557	4,963	51	1,096
養護教諭数(人)	427	21,770	10,597	6,505	77	1,828
配置率(倍)	0.03	1.04	1.00	1.31	1.51	1.67

養護教諭の配置状況と、養護教諭総数に対する男性養護教諭の割合を表2に示した。全国には約4万人の養護教諭がいるが、そのほとんどが女性であり、男性は0.12%しかいない。校種別にみると特別支援学校と幼稚園に配置されている割合が高いことが分かる。中等教育学校は学校数が少ないことも影響するが、男性養護教諭は配置されていない。

表2. 養護教諭総数に対する男性養護教諭の割合

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校	合計
男性養護教諭数(人)	3	7	12	11	0	16	49
女性養護教諭数(人)	424	21,763	10,585	6,494	77	1,812	41,155
養護教諭 合計(人)	427	21,770	10,597	6,505	77	1,828	41,204
男性の割合(%)	0.70	0.03	0.11	0.17	0.00	0.88	0.12

平成26年度の男性養護教諭数¹⁴⁾を、都道府県ごと・校種別に表し、表3に示した。網掛けの部分は男性の配置がない都道府県である。各校種の国立学校(園)と、表2に示した通り中等教育学校には男性が配置されていないため、表3には項目を立てていない。私立小学校と私立特別支援学校には男性が配置されていないが、他の校種に関しては公立・私立に関係なく男性が配置されている。

表3. 平成26年度の男性養護教諭数

単位:人

	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	
北海道							1				1
青森									1		1
岩手											
宮城			1								1
秋田											
山形											
福島					1						1
茨城					1				1		2
栃木								1			1
群馬											
埼玉							1				1
千葉									1		1
東京		1	1			1		1	2		6
神奈川						1			1		2
新潟				1							1
富山											
石川											
福井											
山梨											
長野											
岐阜			1								1
静岡						1			2		3
愛知		1						2	1		4
三重	1						1				2
滋賀					1				1		2
京都						1					1
大阪			2		1		1		4		8
兵庫					1						1
奈良											
和歌山											
鳥取						1					1
島根							1				1
岡山								1			1
広島									2		2
山口			1								1
徳島											
香川											
愛媛											
高知			1								1
福岡					1						1
佐賀											
長崎											
熊本											
大分							1				1
宮崎											
鹿児島											
沖縄											
合計	3		7		12		11		16		49

「男性養護教諭友の会」が結成された平成22年の採用状況¹⁶⁾は表4の通りである。特別支援学校のデータがないため不十分な表であるが、前述の新聞記事^{3) 4) 5)}のタイトルにあるように5年の間に男性養護教諭が増加していることが分かる。

表4. 平成22年度の男性養護教諭数

単位:人

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	合計
福島		1			1
茨城			2		2
栃木				1	1
埼玉				1	1
千葉				1	1
東京	1		1		2
神奈川			1		1
静岡			1		1
愛知	1			1	2
京都		1	1	1	3
大阪		1			1
兵庫	1	1	1	1	4
奈良		1			1
島根				1	1
広島			1		1
高知		1			1
佐賀				1	1
大分				1	1
合計	3	6	8	9	26

(2) 研究動向からみる男性養護教諭の現状と課題

国立情報学研究所学術情報ナビゲータ CiNii において、「男性養護教諭」で検索された9件の論文^{17) -25)}を表5に示した。

表5. 「男性養護教諭」で検索された論文一覧

No.	文献タイトル	著者名	雑誌名	発行年
①	養護教諭複数配置と男性養護教諭: 質問紙調査からの検討: 第2報	大野泰子、永石喜代子、米田綾夏、寺田圭吾、小林壽子	鈴鹿短期大学紀要28,95-107	2008
②	保健管理センターのあり方	寺田圭吾、米田綾夏、永石喜代子、大野泰子、小林壽子	鈴鹿短期大学紀要28,149-159	2008
③	男性養護教諭に対する意識調査: 現職養護教諭、教育委員会の意識	津村直子、冨野由紀子、安西幸恵、川内あかり、横堀良男、山田玲子	北海道教育大学紀要、教育科学編60(2),47-60	2010
④	養護教諭とジェンダー(2): あるベテラン男性養護教諭のライフストーリーを中心に	川又俊則	鈴鹿短期大学紀要31,17-34	2011
⑤	養護教諭の複数配置についての一考察: 男性養護教諭を求め男子の声が聞かれるもの	山梨八重子	日本教育保健学会年報(19),41-52	2011
⑥	男性養護教諭に対する意識調査: 男性養護教諭勤務校の生徒の意識	津村直子、冨野由紀子、安西幸恵、川内あかり、横堀良男、山田玲子	北海道教育大学紀要、教育科学編61(2),145-155	2011
⑦	男性養護教諭の出現が意味するもの: 大阪の男性養護教諭への聞き取りから	松下昌子	女性学年報(33),76-92	2012
⑧	男性養護教諭に対する生徒の意識調査	山邊穂嵩、飯野矢住代	日本医学看護学教育学会誌(22),56-60	2013
⑨	ミニシンポジウム養護教諭をめぐる課題: 男性養護教諭を通して考える	米野吉則、西浦裕子	日本養護教諭教育学会誌17(2),87-91	2014

9件の文献の内、⑦²³⁾は現職養護教諭によるものであるが、他の8件^{17) -22) 24) 25)}は大学に籍を置く研究者によるものであった。研究の内容は、④²⁰⁾については男性養護教諭のライフストーリーを元にした考察、⑨²⁵⁾は学術集会シンポジウムのまとめであっ

た。この他の7件^{17) -19) 21) -24)}については調査研究であったので、その内容等を表6に示した。

表6. 男性養護教諭に関する文献の調査内容等

No	対象	方法	内容	年
①	現職養護教諭 (三重県:686人)	質問紙 調査	複数配置及び、男性養護教諭に関する意見	2007
②	大学の保健管理 センター利用者 (278人)	質問紙 調査	複数配置及び、センターに常駐する男性 養護教諭に対する意識	2007
③	現職男性養護教諭 (6人)	質問紙 調査(郵 送)	志望動機、養護教諭として大切なこと、子 どもとの関わりで工夫していること、充実 感・達成感等	2003
	教育委員会(13 政令指定都市、 47都道府県)	質問紙 調査(郵 送)	男性養護教諭の採用状況・採用に対する 考え・採用基準・期待すること等	2003
	現職女性養護教諭 (670人)	質問紙 調査(配 票)	男性養護教諭との関わり、男性養護教諭 の採用・必要性に対する考え、男性養護 教諭では難しい点、男性・女性の複数配 置に対する考え等	2004
⑤	小学校5・6年生 の男女(446人)	質問紙 調査(直 接)	12の対応場面を提示し養護教諭の性を選 択、男女の複数配置に対する意識	2010
⑥	男性養護教諭勤務校(定時制課 程)高校生60人、 女性養護教諭勤務校(定時制課 程)高校生103人	質問紙 調査(留 置法)	望ましい養護教諭像、養護教諭に望む性 別、男性養護教諭では困ること、男性(女 性)養護教諭でよかったこと、望ましい養 護教諭の配置、男性養護教諭の将来	2004
⑦	大阪府の現職男 性養護教諭全員 (4人)	聞き取 り調査	志望動機、男女混合名簿・家庭科男女共 修の体験、養成課程における問題点、勤 務上の問題点、男性養護教諭同士のつな がり、男性養護教諭像	2010 / 2011
⑧	中学生67人、高 校生61人	質問紙 調査(担 任によ る)	養護教諭に望む性別、望ましい養護教諭 の配置、男性養護教諭の認知・望む年代・ 必要性・困ること・増加希望の有無、保健 室での対応を希望する養護教諭の性別等	2011

表6の調査状況から、男性養護教諭や現職養護教諭だけでなく、養護教諭が執務をする各学校の児童生徒、大学生にまで意識調査が行われている。また、先に述べた長野県での事例¹²⁾にもあるように、教育委員会への調査も行われていた。調査内容は、複数配置に関わるものや困難感に関する内容が多く見られ、児童生徒を対象とする調査には、養護教諭が男性(女性)であったらどうするかといった意識に関するものが多く見られる。

表5・6に示した①～⑧の文献^{17) -25)}から、男性養護教諭に関する「メリット」と「デメリット」と解釈される文章を短い文節で抽出し、KJ法¹³⁾を利用し質的に分析した。

9件の文献から得られた記述内容は117件あり、「メリット」と解釈される記述は73件(62.4%)、「デメリット」と解釈される記述は44件(37.6%)であった。記述の差は「メリット」と捉えられるものの方が1.66倍多い。それぞれの分析結果を表7・8に示す。

表7. デメリットと解釈された記述内容(44件)

コア	サブ	記述内容	件数	文献		
社会的認識 6	社会的認識 6	心配だから男性は拒否	1	①		
		採用されない	1	①		
		職務上のメリットが想像できないため理解されない	1	①		
		社会的に認知されていない	1	③		
		保護者のニーズに関して難しい面がある	1	③		
		PTAの反発が心配	1	④		
	母性 7	母性 7	養護教諭の仕事は母性で対応できる	1	①	
			母性の強い職種	1	①	
			仕事の内容から女性に向いている	1	③	
			母性を必要とする女性特有の仕事であり男性には適性がない	1	③	
			母性的なかわりができるのか	1	③	
			母性的役割がある	1	⑤	
			専門性を発揮できない	1	⑨	
性的な誤解 6	性的な誤解 6	性的対応の配慮に問題	1	①		
		健康診断やアセスメントにおける触診が性的な誤解を招く	1	①		
		セクハラにならないか心配	1	①		
		セクハラの危険性	1	③		
		わいせつ目的と思われぬように説明が必要	1	⑦		
		異性の児童生徒との密室の個別対応に注意し誤解のないように対応	1	⑨		
		抵抗感 11	抵抗感 11	男性だと戸惑う	1	②
				男性だと話にくい	2	② ⑥
				男性であることに抵抗感がある	1	③
				女性だと安心する	1	⑥
				女性の方が楽に話せる	1	⑧
手当ては女性が良い	1			⑧		
女子への対応配慮 31	女子への対応配慮 31	男の先生はこわそう	1	⑧		
		相談しづらい	1	⑧		
		安らぎを感じられない	1	⑧		
		けがの時行きにくい	1	⑧		
		女子への対応に課題が多いと思う	1	③		
		スキンシップをとりにくいのではないかな	1	③		
		お漏らしの始末はどうするのか	2	③ ⑦		
		女子への性指導が難しいのではないかな	1	③		
		初経指導	1	④		
		初経・生理の相談ができない	1	①		
生理の時困る	1	⑥				
女性特有の問題の相談	1	⑥				
健康診断 5	健康診断 5	健康診断や内科検診の時に困る	1	③		
		心臓検診	1	⑦		
		モアレ検査	1	⑦		
		触診はどうするのか	2	③ ④		

表8. メリットと解釈された記述内容 (73件)

コア	サブ	記述内容	件数	文献
性差による問題のなさ	性差ではない	性別は関係ない	1	⑥
		性別は全く関係ない	1	③
		職業上の性差はない	1	①
		性差は大きな問題ではない	1	④
		男女どちらでもよい	1	⑦
		どちらでもよい	1	⑧
		男性養護教諭が認知されれば看護師のように増える	1	①
		男女のメリットとデメリットを考えるとどちらの立場でも5050	1	④
	困難感	不都合に感じたことはない	1	④
		困ることはない	1	⑦
		トラブルはない	1	⑨
	人間性	信頼できれば男女どちらでもよい	1	⑥
		子どもを思い寄り添う姿勢が同じであればメリットデメリットにとらわれない	1	⑨
		性差より人間性	1	①
		性別ではなく人柄が重要	1	⑥
		性別よりも人間性が問題	1	⑥
有用感	男子への対応に有効	1	③	
	男子が保健室に来やすい	1	⑦	
	男子が話しやすい	1	⑦	
	男性を求める児童生徒がいる	1	③	
	男性の方が話しやすい	1	⑥	
男子への性指導	男性ならではの良好な指導対応が期待できる	1	①	
	思春期の男子に対応ができる	1	①	
	性の指導に有効	1	③	
	男子への性教育	1	⑦	
	男性特有の悩みの時	1	⑧	
	男子の性の相談に来る保護者対応	1	⑨	
父性	対応における父性のメリットがある	1	①	
	父性が必要とされ求められている	1	③	
	新たな父性をつくり上げる	1	⑦	
	一人親家庭で男性像のない子どもに補正できる	1	⑦	
執務上の有用性	男性だからできる役割がある	1	①	
	職員の間関係の架け橋となる	1	③	
	女性養護教諭集団の中での男性の存在	1	③	
	資質向上のために男性は必要	1	③	
	力仕事ができる	1	⑦	
	運搬や力仕事	1	③	
	児童生徒の職業選択に性の枠を広げることができる	1	⑤	
	新鮮	1	⑥	
執務の工夫	工夫をすれば問題が解決される	1	①	
	女子に対しては踏み込めるラインがみえてくるのでうまく使いながら行っている	1	④	
	発育測定は着衣で行う工夫	1	⑥	
	触診の時は女性に代わる(同性の児童)	1	⑥	
6	検診の記録は女性にお願いし男性は進行係りにすることで解消される	1	⑥	
	内科検診の時は検査室に入らず調整役	1	⑨	

複数配置のよさ	採用は複数配置や男子校で可能である	1	①
	複数配置になると留守にならない	1	①
	複数配置になると心に余裕ができる	1	①
	多様な問題に複数で対応できる安心がある	1	①
	心強い	1	⑧
	相談目的に合う養護教諭を選択できる	1	②
	場合によって先生を選べる	1	⑥
	相談者を児童生徒が選べる	1	①
	様々な子に対応できる	1	⑥
	仕事が分担できる	1	⑥
	子どもに指名されたら希望に沿う	1	⑦
	どんな状況でも対応できる	1	⑧
男女配置のよさ	男女の先生が保健室にいるとよい	1	③
	複数配置で効果がある	1	⑤
	両方に相談できる	1	⑧
	異性の意見を聞く機会ができる	1	②
	女性に聞くことができないことが聞ける	1	⑥
	どちらもいた方が希望に応じて対応できる	1	⑧
	性の特性を活かした役割分担ができる	1	③
	男女で仕事分担	1	⑧
両性の視点	発達途上の子どもの要求や要望に応えるために男女両方必要	1	⑤
	多様化する児童生徒のニーズに対して男女両方の視点を活かして対応する必要がある	1	③
	両性の視点が必要	1	⑨
	男性の視点も取り入れることが必要	1	③
同性への対応	男女の養護教諭がいると男子女子両方に対応しやすい	1	③
	局所の視診や処置	1	③
	同性養護教諭を求める(体の変化の相談、体重測定、内科検診、友人の相談、気分が悪い時の対応、性の相談、体幹の触診)	1	⑤
	同性に対応してもらえる	1	⑥

ここでは、コアカテゴリーを【 】、サブカテゴリーを []、記述内容を < > で示す。

表7のデメリットと解釈される記述内容からは、コアカテゴリーとして【社会の認識 (13件)】、【女子への対応配慮 (31件)】の2つにまとめられた。表8のメリットと解釈される記述内容からは、【性差による問題のなさ (16件)】、【執務上の有用性 (29件)】、【複数配置 (28件)】の3つにまとめられた。

5. 考察

男性養護教諭に対するデメリットと解釈される内容から、【社会の認識】が挙げられたが、表8の【性差による問題のなさ】に<男性養護教諭が認知されれば看護師のように増える>と記述があるように、今後増加することが期待できれば、<母性の強い職種>と言うことも認識が変化し解決に結びつくのではないかと考えられる。【女子への対応配慮】に関しても、表8の【執務上の有用性】にある[執務の工夫]にあるよ

うな対応ができれば解決に結びつくと考えられる。このような心配や不安があるためか、表2に示した校種別の男性養護教諭の配置割合では、小学校が一番少なく、幼稚園・特別支援学校に多いことから推測される。【複数配置】においては、男女の養護教諭を配置することでのよさが挙げられた。【性差による問題のなさ】にも＜男女のメリットとデメリットを考えるとどちらの立場でも5050＞とあり、両性で児童生徒に対応することでのよさが記述に表れている。

そして何よりも、【性差による問題のなさ】の[人間性]にあるように、＜性別よりも人間性＞であると考える。

6. 結 論

男性養護教諭の研究動向から、男性養護教諭の現状と課題を得ることができた。男性養護教諭の活躍が社会に広まり存在が認識されることで、より多くの男性養護教諭が生まれる。複雑化した児童生徒の健康問題を解決していくためには、複数配置が広まり、男女両性の視点で保健室経営できることが有効である。

得られた知見を本コースの男子学生の指導に役立て、さらに男性養護教諭が広く認識されるように「男性養護教諭友の会」の活動を支援していきたい。

謝 辞

本研究を実施するにあたりご協力をいただきました、吉田聡先生をはじめ男性養護教諭友の会関東支部の先生方、東山書房の山本敬一氏に、深く感謝いたします。

引用・参考文献

- 1) <https://www.nhk.or.jp/nagoya/salad/old/h22/011/100607.html> 2015/11/21アクセス
- 2) 日本学校保健学会「第58回日本学校保健学会講演集 vol.53 Suppl. p196, p483 2011
- 3) 読売新聞「男子の悩みまかせて…保健室の男生増えてます」2011/2/19
- 4) 神戸新聞「学校保健室に男性養護教諭、全国で採用進む」2014/1/24
- 5) 朝日新聞「保健室の先生、男性じわり増加、女性教諭と役割分担」2014/12/11
- 6) 吉田聡「養護教諭の研修ガイド、実践力を伸ばす学び—男性養護教諭の研修会」健康教室10月臨時増刊号 p94東山書房2012
- 7) 梅木陽平「健康診断のアイデア・ファイル—よりよい健康診断になるように試行錯誤しています」健康教室2月増刊号 東山書房 p52 2014

- 8) 高木洋子,市川恭平「健康診断のアイデア・ファイル—一歩進んでほら大丈夫!健康診断なんてこわくない!!」健康教室2月増刊号 東山書房 pp68-69 2014
- 9) 大西康司「やっぱり養護教諭が好き—養護教諭はおもしろい仕事、挑戦できることにはどんどん取り組みたい」健康教室2月増刊号 p12東山書房 2014
- 10) <http://search.yahoo.co.jp/search> 2015/11/21アクセス
- 11) http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q14127903284 2015/11/21アクセス
- 12) <http://www.pref.nagano.lg.jp/soumu/koho/hotline/shosai/koukai/2014/10/2014000625.htm> 2015/8/11アクセス
- 13) 川喜田次郎「問題解決学 KJ 法ワークブック」講談社 1970
- 14) 文部科学省「平成26年度学校基本調査報告書(初等中等教育機関専修学校・各種学校編)」pp34-35,pp60-73,pp114-131,pp176-193,pp352-375,pp444-453,pp494-531 2014
- 15) 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律 第8条第2項」必携学校小六法 協同出版 p105 2011
- 16) <http://ecitizen.jp/Ssds/Indicators/E130201.E240201.E340201.E440201> 2015/8/11アクセス
- 17) 大野泰子、永石喜代子、米田綾夏他「養護教諭複数配置と男性養護教諭：質問紙調査からの検討：第2報」鈴鹿短期大学紀要28,pp95-107 2008
- 18) 寺田圭吾、米田綾夏、永石喜代子他「保健管理センターのあり方」鈴鹿短期大学紀要28,pp149-159 2008
- 19) 津村直子、富野由紀子、安西幸恵他「男性養護教諭に対する意識調査：現職養護教諭、教育委員会の意識」北海道教育大学紀要教育科学編60(2),pp47-60 2010
- 20) 川又俊則「養護教諭とジェンダー(2)：あるベテラン男性養護教諭のライフヒストリーを中心に」鈴鹿短期大学紀要31,pp17-34 2011
- 21) 山梨八重子「養護教諭の複数配置についての一考察：男性養護教諭を求める男子の声が問いかけるもの」日本教育保健学会年報(19),pp41-52 2011
- 22) 津村直子、富野由紀子、安西幸恵他「男性養護教諭に対する意識調査：男性養護教諭勤務校の生徒の意識」北海道教育大学紀要、教育科学編61(2),pp145-155 2011

- 23) 松下昌子「男性養護教諭の出現が意味するもの：
大阪の男性養護教諭への聞き取りから」女性学年
報 (33) ,pp76-92 2012
- 24) 山邊穂嵩、飯野矢住代「男性養護教諭に対す
る生徒の意識調査」日本医学看護学教育学会誌
(22) ,pp56-60 2013
- 25) 米野吉則、西浦裕子「ミニシンポジウム養護教諭
をめぐる課題：男性養護教諭を通して考える」日
本養護教諭教育学会誌17 (2) ,pp87-91 2014

